



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年 第47週 (11/21~11/27) 【概要版】

令和4(2022)年 12月 1日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- 感染性胃腸炎は、例年より低いレベルで推移していますが、増加傾向が見られます。例年晩秋から冬季にかけて流行が見られます。調理前や食事前の手洗いとともに、食品の取り扱いにご注意ください。
- 手足口病は、「例年より多く」報告されていますが、ピーク時(9月頃)と比べると低い水準となっています。
- 突発性発しんは、「例年より多く」報告されていますが、前週より減少しており増加傾向は見られません。
- 梅毒は、新たに1例の報告があり今年の報告数が61例となりました(過去最多は2021年の46例)。主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患(五類感染症) <sup>i\*</sup>

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	1.49	1.69	2.06					多		多	多	多	
手足口病	0.54	0.17	0.72		○		多	↑				多	
突発性発しん	0.23	0.31	0.25		○		多		多			多	
ヘルパンギーナ	0.06	0.03	0.22							↑			多
RSウイルス感染症	0.49	0.33	0.19				多			多	多		多

(2) 前週の全国、滋賀県および近隣府県の状況(下線: 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	<u>3.21</u>	1.69	<u>2.91</u>	1.4	<u>7.83</u>	1.08	<u>4.31</u>
手足口病	<u>0.55</u>	0.17	<u>0.96</u>	<u>1.24</u>	0.04	<u>0.53</u>	0.16
突発性発しん	0.25	0.31	0.24	0.11	0.26	0.08	0.24
ヘルパンギーナ	<u>0.18</u>	0.03	<u>0.43</u>	<u>0.12</u>	-	0.02	0.02
RSウイルス感染症	<u>0.74</u>	0.33	0.21	<u>0.51</u>	<u>0.83</u>	0.09	0.11



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県						保健所別					
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	5	3	2			1	1					
四類	レジオネラ症	0	0	1	○			1					
五類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	1								1	
五類	梅毒	2	0	1	○	○	1						
五類	百日咳	0	1	1			1						

i. 定点把握疾患: 人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii. 警: 警報発令、注: 注意報発令

iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)

iv. 「警: 警報開始基準を超過」、「注: 注意報基準を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和4年 第47週 (11/21~11/27) 【詳細版】

令和4(2022)年 12月1日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 感染性胃腸炎は、例年より低いレベルで推移していますが、増加傾向が見られます。例年晩秋から冬季にかけて流行が見られます。調理前や食事前の手洗いとともに、食品の取り扱いにご注意ください。
- (2) 手足口病は、「例年より多く」報告されていますが、ピーク時(9月頃)と比べると低い水準となっています。
- (3) 突発性発しんは、「例年より多く」報告されていますが、前週より減少しており増加傾向は見られません。
- (4) 梅毒は、新たに1例の報告があり今年の報告数が61例となりました(過去最多は2021年の46例)。主に性的な接触により感染する感染症です。予防にはコンドームが有用ですが、完全に予防できない可能性があります。皮膚や粘膜の異常など気になる症状があった場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診してください。

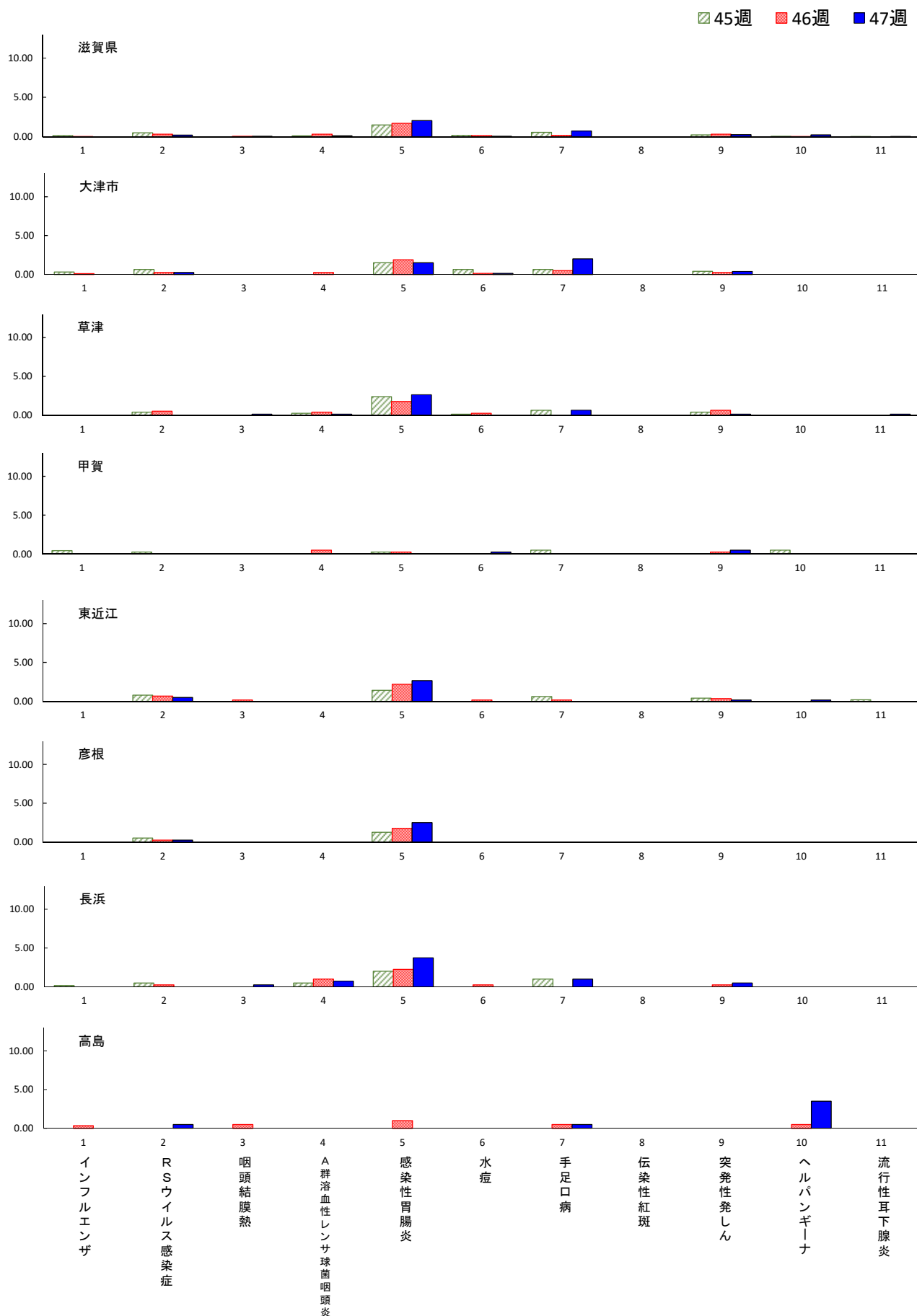
2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週)の値<sup>i, ii, iii, iv</sup>

※45週(2週前)は東近江圏域で1医療機関の休診があり、定点数から引いています。

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別 <sup>(iv)</sup>								基準値						
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 <sup>(ii)</sup>	例年より 多い <sup>(iii)</sup>	例年より 非常に多い <sup>(iii)</sup>	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	全国 (前週) (iv)	警報 開始	警報 終息	注意報	
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	0.14	0.03	0				0	0	0	0	0	0	0	0.11	30	10	10	
	RSウイルス感染症	0.49	0.33	0.19				0.25	0	0	0.50	0.25	0	0.50	0.74	-	-	-	
	咽頭結膜熱		0	0.06	0.06				0	0.13	0	0	0	0.25	0	0.08	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.11	0.31	0.11				0	0.13	0	0	0	0.75	0	0.40	8	4	-	
	感染性胃腸炎	1.49	1.69	2.06				1.50	2.63	0	2.67	2.50	3.75	0	3.21	20	12	-	
	水痘	0.17	0.14	0.06				0.13	0	0.25	0	0	0	0	0.11	2	1	1	
	手足口病	0.54	0.17	0.72		○		2.00	0.63	0	0	0	1.00	0.50	0.55	5	2	-	
	伝染性紅斑		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.01	2	1	-	
	突発性発しん	0.23	0.31	0.25		○		0.38	0.13	0.50	0.17	0	0.50	0	0.25	-	-	-	
小児科 (定点数:36)	ヘルパンギーナ	0.06	0.03	0.22				0	0	0	0.17	0	0	3.50	0.18	6	2	-	
	流行性耳下腺炎	0.03	0	0.03				0	0.13	0	0	0	0	0	0.03	6	2	3	
	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	-	
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.19	8	4	-	
	細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.03	-	-	-	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
基幹 (定点数:7)	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	

- i. 定点把握疾患: 人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- ii. 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- iv. **赤字斜字**: 警報開始基準を超過、**紫字斜字**: 注意報基準を超過

### 3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去2週）



### 4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大津市保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

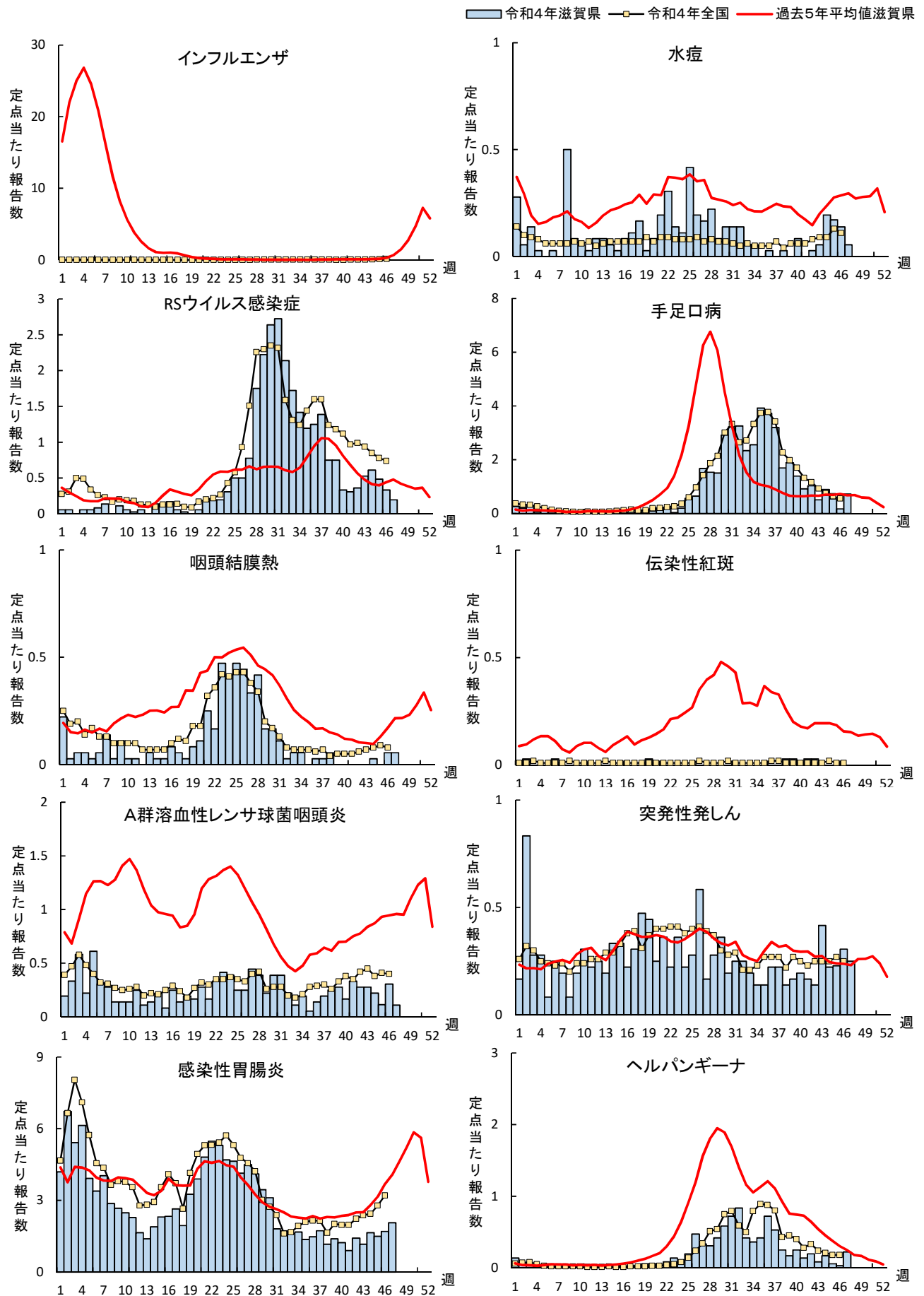
小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	7	1	-	1	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	4	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-
感染性胃腸炎	74	-	4	7	13	13	10	3	3	3	2	2	7	4	3
水痘	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
手足口病	26	-	1	8	9	5	2	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	9	-	2	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	8	-	1	1	2	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

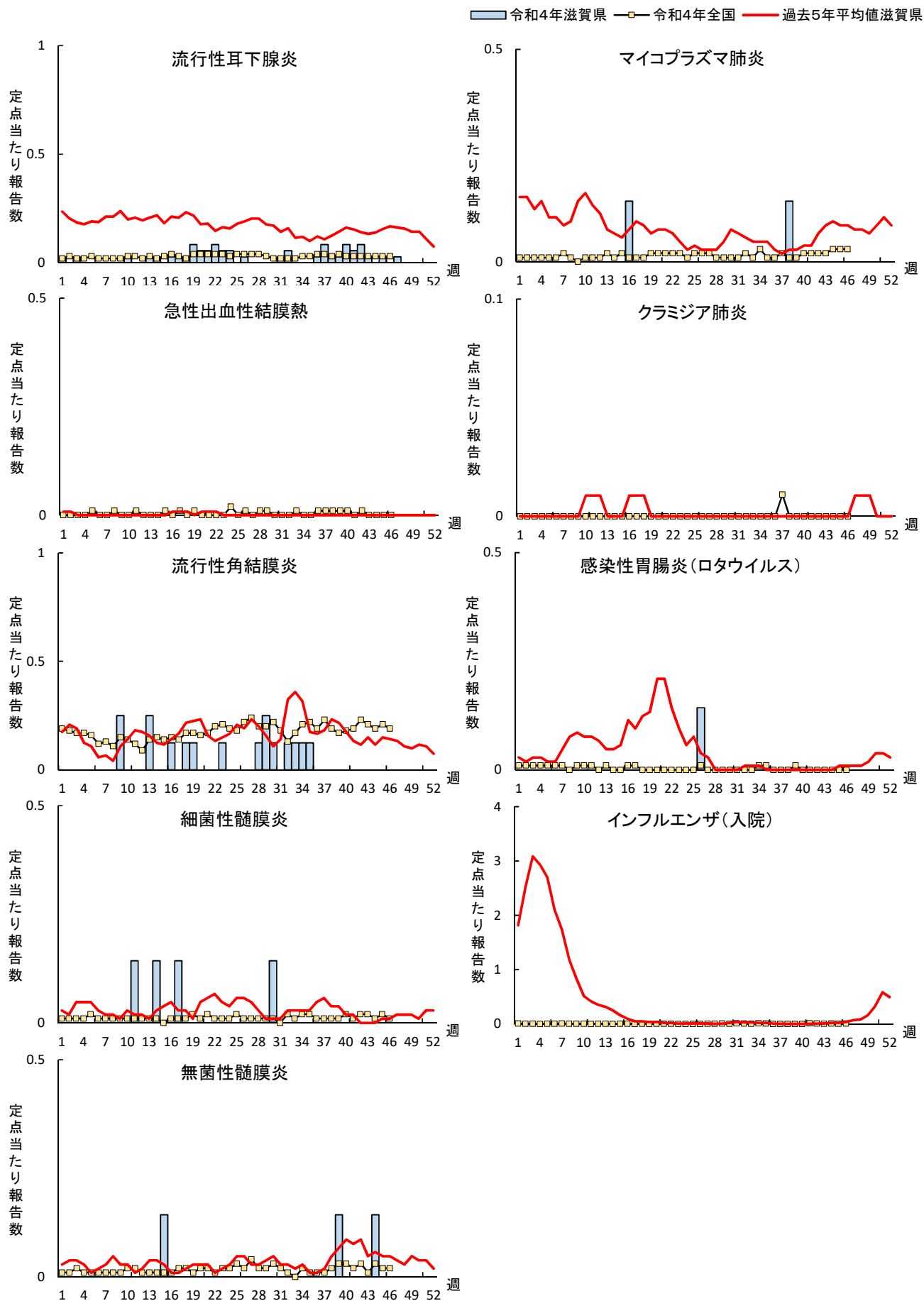
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

### 5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



## 5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報（今週報告例）<sup>v</sup>

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	47	大津市	50歳代	男	肺結核	-	-
	結核	47	草津	60歳代	男	無症状病原体保有者	県内	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	45	草津	40歳代	女	無症状病原体保有者	-	O18VT1
四類	レジオネラ症	47	草津	70歳代	女	肺炎型	-	-
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	45	東近江	70歳代	男	-	県内	血清群不明
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	47	長浜	70歳代	女	-	県内	ワクチン接種歴不明
	梅毒	47	大津市	30歳代	女	無症状病原体保有者	国内	-
	百日咳	47	大津市	10歳未満	男	-	県内	ワクチン接種歴不明

v. 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

## 今週の注目すべき感染症

## ■ ノロウイルス

## (1) ノロウイルスに関する Q&amp;A(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

## (2) ノロウイルス等検出速報(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

## ■ インフルエンザ

## (1) インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023 シーズン(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou\\_00010.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html)

## (2) インフルエンザ Q&amp;A(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

## ■ 梅毒

## (1) 梅毒に関する Q&amp;A(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

## (2) 梅毒とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

## (3) 梅毒 IASR Vol.41 2020 年1月号(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

## ■ 新型コロナウイルス感染症

## (1) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/309252.html>

## (2) 現在の感染拡大防止対策について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bousai/sougo/313693.html>

## (3) 新型コロナウイルス感染症にかかる滋賀県内の感染動向等(日報・週報)(滋賀県感染症対策課)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/314006.html>

## 7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和4年）<sup>vi, vii</sup>

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国	昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(前週)	滋賀県	全国
二類 結核			146	49	32	12	18	23	11	1	13054	169	16299
			10.35	14.30	9.20	8.44	7.96	14.88	7.32	2.18	10.40	11.95	12.92
三類 腸管出血性大腸菌感染症			44	13	15	4	5	3	3	1	3093	77	3243
			3.12	3.79	4.31	2.81	2.21	1.94	2.00	2.18	2.46	5.45	2.57
四類 つつが虫病	○		1	0	0	0	1	0	0	0	188	1	544
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.15	0.07	0.43
レジオネラ症	○		33	6	3	3	5	10	6	0	1969	37	2133
			2.34	1.75	0.86	2.11	2.21	6.47	4.00	0.00	1.57	2.62	1.69
五類 アメーバ赤痢	○		9	3	4	0	1	0	1	0	464	5	537
			0.64	0.88	1.15	0.00	0.44	0.00	0.67	0.00	0.37	0.35	0.43
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	○		18	4	11	0	2	1	0	0	1722	25	2066
			1.28	1.17	3.16	0.00	0.88	0.65	0.00	0.00	1.37	1.77	1.64
クロイツフェルト・ヤコブ病			2	0	2	0	0	0	0	0	147	1	179
			0.14	0.00	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.07	0.14
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		13	3	6	0	3	0	1	0	636	10	622
			0.92	0.88	1.73	0.00	1.33	0.00	0.67	0.00	0.51	0.71	0.49
後天性免疫不全症候群			4	1	3	0	0	0	0	0	764	8	1053
			0.28	0.29	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.61	0.57	0.83
侵襲性インフルエンザ菌感染症			2	0	0	0	0	1	1	0	159	1	194
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.65	0.67	0.00	0.13	0.07	0.15
侵襲性肺炎球菌感染症			17	7	5	1	1	0	3	0	1113	16	1405
			1.20	2.04	1.44	0.70	0.44	0.00	2.00	0.00	0.89	1.13	1.11
水痘(入院例)	○		6	1	3	0	0	1	1	0	285	11	301
			0.43	0.29	0.86	0.00	0.00	0.65	0.67	0.00	0.23	0.78	0.24
梅毒	○	○	61	15	19	2	13	3	9	0	11353	46	7978
			4.32	4.38	5.47	1.41	5.75	1.94	5.99	0.00	9.05	3.25	6.32
播種性クリプトコックス症	○		2	0	0	0	1	1	0	0	129	0	163
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.44	0.65	0.00	0.00	0.10	0.00	0.13
百日咳			10	4	1	0	5	0	0	0	428	5	707
			0.71	1.17	0.29	0.00	2.21	0.00	0.00	0.00	0.34	0.35	0.56

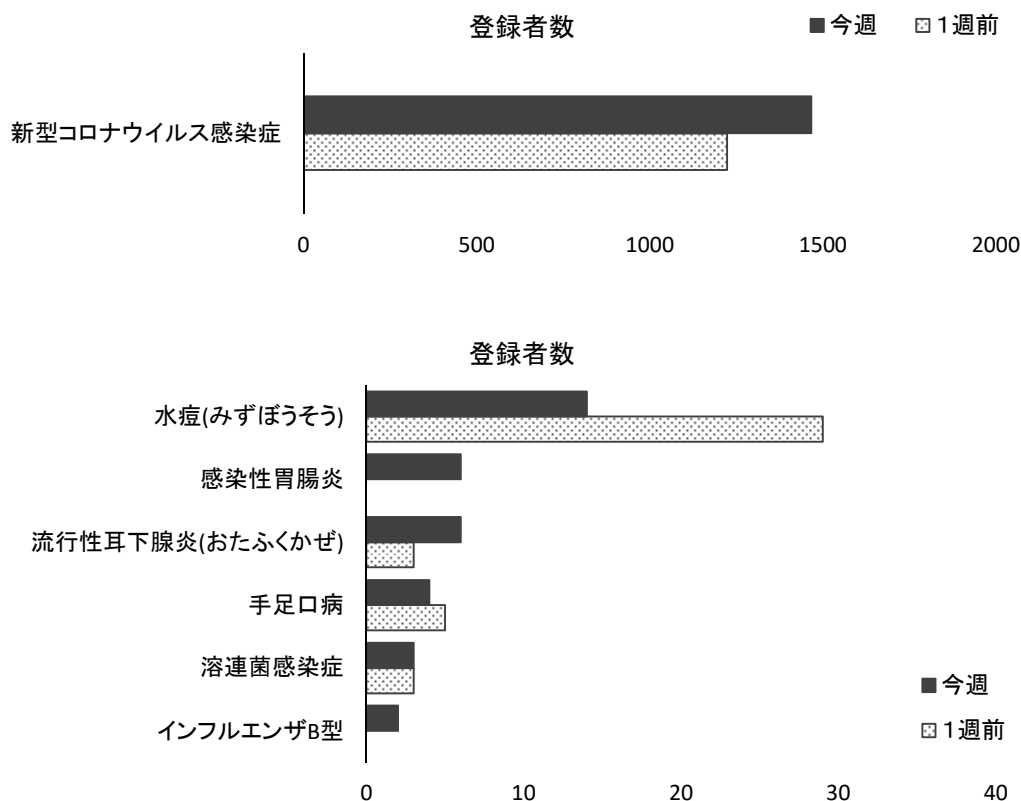
3

- vi. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- vii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記



## 【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム([https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view\\_all.php](https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php))へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



図：学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）において登録数の多い疾患

## 【全国情報】国立感染症研究所 感染症疫学センターHPに掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

## 【届出対象疾患】厚生労働省 HPに掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html)

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP:

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」